



氷

ウグイスは全国的に分布しますが、北海道や本州の雪深い寒冷地では冬季は温暖な地方に移動するのでいなくなってしまいます。その一方で、本州などの多くの地方では個体の移動はありますが、年中私たちの近くに生息する鳥です。平地で鳴き始める季節が早春であることから、春告鳥（ハルツゲドリ）の別名があります。その年の最初に鳴き声を聞いた日のことを初鳴日（しよめいび）というのだそうです。「ホーホケキョ」という声は待ち遠しいものようですね。

ウグイス

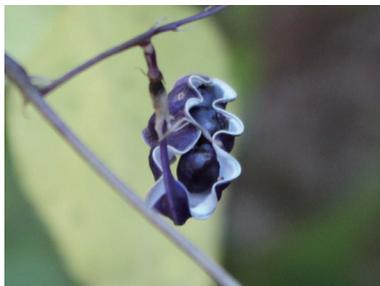


今、ふれあいの村では・・・

一年で一番寒いといわれる大寒の時期ですが、メジロが群れを成してサザンカの蜜を吸い、賑やかな様子を見せてくれます。寒い中でも活動する生き物たちに逞しさを感じます。◆日当たりのいい場所で日光浴をしていたのはキジムシロです。あたたかくて気持ちよさそうです。葉が放射状に展開する姿が、キジが座る筈（むしろ）に見えることからこの名がついたとされています。眩しいほど黄色く輝いていました。◆事務所近くのツツジから顔を出しているのはネコヤナギ。赤い冬芽がたくさんついています。赤い部分は芽鱗（がりん）といい、中身を守る働きをしています。二月ごろになると芽鱗が徐々に外れ、フサフサした花穂がでてきます。この花穂がネコの尻尾のようであることからネコヤナギという名がついたそうです。なんともかわいらしい由来ですね。◆アザミは種を飛ばしている途中、ウバユリは種を飛ばし終えた様子。今シーズンの仕事を終える植物の姿がちらほらありますが、スギが徐々に色づいたり、カワヅザクラが咲き始めたり、春はもうすぐです。



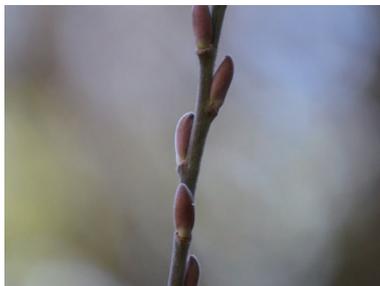
メジロ



ノササゲ



キジムシロ



ネコヤナギ



アザミ



ウバユリ

二月十四日～十八日

冬の間氷の下の冷たい水の中でじっとしていた魚たちが春を感じとり、元気よく動き始めます。

水がぬるみ、春の陽光が水面にきらめき出すと様子を伺うように水面近くに上がってきます。

しかし、早春はまだ寒く、寒暖の差も激しいですからあたたかい日には上がってきて、寒い日にはまたもぐる、そんなことをくりかえすようです。

魚にとって一度の差は、人間にとって五度の差といわれています。



ニジマス

メダカ

★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。

動物の痕跡

くりのき村周辺を散策しているとポロポロとした糞と足跡がありました。シカが来ているようです。糞の乾燥具合から、数時間前だと考えられます。近くには折れていたり葉がなくなっているササもあります。植物質のものであればシカはなんでも食べるそうなので、村のササも食料にされたようです。工作棟近くの木の根元には大きな穴を発見しました。穴の入り口の直径は30cmほどあり、奥行きは1m以上ありそうです。イノシシはススキなどでドーム型の巣穴を作るのでイノシシのものではない気がします。また、穴の前には相当掘り起こしたような跡があったので、穴掘りが上手と言われるアナグマのものではないかと推測できます。この時期は足跡や糞、食べ跡、巣など動物の痕跡も見つけやすく、動物によって特徴が異なるので調べてみると面白いです。

外来カマキリの卵

2000年頃から国内で見られるようになり、神奈川県では2006年に秦野市で初めて記録された外来種のムネアカハラビロカマキリ。今年度、村でも多くみられるようになり、卵を発見しやすいこの時期に調査してみました。卵の特徴は全体的に白っぽく、黒い筋があります。また、産み付けられた卵の下部が枝から離れます。そよかぜ広場周辺を職員三人で調査した結果、なんと13個も見つかりました。調査中、在来種であるオオカマキリやチョウセンカマキリの卵もちらほら発見できましたが、圧倒的にムネアカハラビロカマキリの卵の方が多いです。在来種の卵は色的に見つけにくいことも理由に挙げられそうですが…。後日、金太郎広場周辺を職員を増員し5名で調査してみると、なんと70個も見つかりました。在来種が駆逐されてしまうのではないかと心配ですが、これだけみつかってしまうと、もう手遅れなのではないかと思っています。外来種、恐るべしです。



シカの糞



シカの痕跡



シカの足跡



シカの食べあと



なにもものかの巣穴



ムネアカハラビロカマキリの卵鞘

【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村へ電話（0465-72-2010）されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

「Mori・キッチン①」のご案内

ふれあいの村近辺の畑で丹精込めて育てた旬の野菜を収穫し、それを使って野外炊事をします。自分たちの手で採った野菜で作ったごはんは絶品です。家族で親子で野菜と自然を満喫しましょう。

実施日) 4月20日(土) 収穫物) たけのこ
会場) 足柄ふれあいの村
対象) 家族・親子 定員) 35名
参加費) 中学生以上 2,700円(予定)
3歳以上～小学生 2,000円(予定)
申込期間) 2月5日(月)～3月15日(金)

★来月のファミリーコミュニケーションの日：3月3日

10:00～12:00 《自然観察会》私の春一番をマがしに行こう！(参加費無料)
13:00～15:00 《チョーク絵講座》『春の息吹を描こう』(初回250円)
※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。
※申込み・問合せは電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村(南足柄市広町1507)
電話：0465-72-2010 FAX：0465-72-2013
指定管理者：株式会社アグサ(連携協力：関東学院大学)
所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課
URL：http://www.ashigara-fureai.com/